

Brown Bag Seminar

No.077

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら



2022 12.14 (水) 12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_jdnl2MNUSE6o0TSwuHd7pg

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

東日本大震災における災害弱者の心理社会的影響： 障害の社会モデルとインクルーシブ社会

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

田中 真理 教授

基幹教育院 自然科学実験系部門



九州大学基幹教育院教授。
博士（教育心理学）。
東北大学大学院教育学研究科准教授・教授を経て、
2014年から現職。
研究テーマは発達障害の心理臨床。
著書に『東日本大震災と特別支援教育』（慶応義塾大学
出版会、2016年）、『知的障害者とともに大学で学ぶ』（東
北大学出版会、2022年）等、その他共著書、論文多数。
東北で東日本大震災を体験し、多くの障害のある仲間
や子どもたちを亡くしてしまったことへの猛省が、現
在の仕事へ向かう原点のひとつです。
臨床心理士・公認心理師として、医療（精神科、小児科）、
教育（スクールカウンセラー）、矯正（少年院・少年鑑
別所）、産業（株）パナソニック産業カウンセラー）、
福祉（障害者福祉センター）の領域で臨床を行ってき
ました。
九州大学ではキャンパスライフ健康支援センターイン
クルージョン支援推進室室長として、インクルーシブ
キャンパスの構築にむけて活動しています。

「障害者の死亡率は どうしてこんなに高いんでしょうね」。
東日本大震災で障害のある子どもを亡くしたご家族の言葉で
す。障害者の死亡率は、障害のないひとの死亡率の 2 倍から
4 倍でした。この死亡率の高さは、自然災害によるものだけ
ではなく、人災によるものだと考えられます。つまり、障害
者がより多くの危険にさらされて犠牲になってしまうことを
防ぐことができなかった社会のありかたを突き付けられた重
い言葉でした。障害者権利条約では、「障害は、機能障害を有
する者とこれらの者に対する態度及び環境による障壁との間
の相互作用である」と謳っています。これが、障害の社会モ
デルです。東日本大震災において、障害のあるひとがどのよ
うな脆弱性にさらされてきたのか、それはどのような社会環
境による障壁から生じているのかを考え、インクルーシブ社
会について考える機会としたいと思います。

Key Words

災害
障害

インクルーシブ社会